

自分だけの投資スタイル、探せる、見つかる。
ネットで賢く、インデックスファンド・シリーズ。



タネタネ
フレンズの

インデックス丸わかり

その2 「トピックスと日経225の違い」



「みのっタネくん、ぼくも日本の株式を勉強しようと思って、“新聞”っていうものを見てみたんだよ！そうしたら、「トピックス」とか「日経225」なんていう言葉が出てきたんだけど、これって何？」

よく気づきましたね。一番の違いはインデックスを作っている会社が違うことなんです。トピックスは東京証券取引所、日経225は日本経済新聞社が作っているんですよ。



大きな違いは2つです。
まずはインデックスの計算に使っている株式の数が違います。日経225は東京証券取引所第一部上場会社のうち名前の通り225社の株価を使って計算しているけど、トピックスは上場している全部の会社（約1700社）の株価を使って計算しているんです。
あと、計算方法もかなり違います。日経225は225社の株価を単純に平均して計算しています。これで、500円額面の株を50円に調整したり、株式分割を反映させた「除数」により調整したりしているんですが、わかりますか？それに対して、トピックスは基準となる日の株価と発行済み株式数を掛け合わせたもの、これは時価総額っていうのですが、それを合計した市場全体の価格を100として毎日それがいくらになるかを計算しています。だから、日経225の単位は「円」だけどトピックスは単位がないんです。



ふ～ん、それで名前が違うんだ。他には？



大正解！
単純平均で計算する日経225は、主に電気精密といった輸出関連の企業や株価の高い会社の影響受けやすいんです。だから為替相場の影響を受けることもあります。一方、トピックスは自動車、銀行、電機や電力のような大企業がインデックスを動かす中心になっています。だから、日々の2つのインデックスの変動は同じじゃないんですよ。



へ～、作り方が違うのなら中身も違うよね？



むずかしい質問ですね。
どちらも日本株を代表するインデックスです。説明したような特徴を理解した上で投資すれば問題ありません。あえて言うなら、ニュースでよく紹介されることから常に値段が気になる人には日経225が、日本経済全体の動きに投資したいのならトピックスにといったところでしょうか？



う～ん、どっちに投資するのがいいのかな？



日経225は1949年から公表されてるのですが、1970年までは東京証券取引所が公表していたんです。その名残でしょうか、今でも一部のマスコミでは日経225のことを「東証平均株価」と紹介しているところがあります。今まで勉強したようにそんな名前のインデックスはないんですけどね・・・。



最後に、みんなに自慢したいから「話のタネ」を教えて！



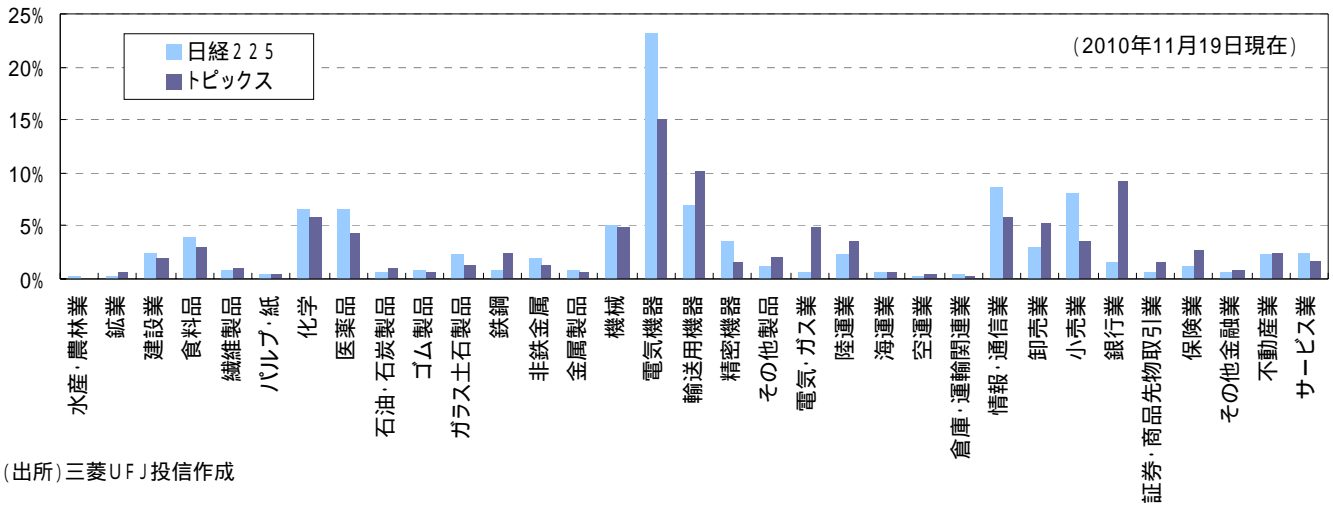
どういたしまして。
覚えることはたくさんありますが、いろいろと勉強していくと楽しいですよ！



そうなんだ・・・、ありがとう。みのっタネくん。



各インデックスの業種比率



(出所)三菱UFJ投信作成

日経平均株価 (日経225)

日経平均株価(日経225)とは、東京証券取引所第一部上場銘柄のうち代表的な225銘柄を対象として日本経済新聞社により算出、公表される株価指数です。当指数は、増資・権利落ち等の市況とは無関係の株価変動要因を修正して連続性を持たせたもので、わが国の株式市場動向を継続的に捉える指標として、広く利用されています。日経平均株価(日経225)に関する知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価(日経225)の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、日本経済新聞社および日本経済新聞デジタルメディアは、その運用および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。日本経済新聞社および日本経済新聞デジタルメディアは、日経平均株価(日経225)を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。

東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は、東京証券取引所の知的財産権であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行うことができます。東京証券取引所は、TOPIXの商標の使用もしくはTOPIXの指数の引用に関して得られる結果について、何ら保証、言及をするものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。また、東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本件インデックス・ファンドは、TOPIXの指数値に連動した投資成果を目標として運用しますが、本件インデックス・ファンドの基準価額とTOPIXの指数値が著しく乖離することがあります。本件インデックス・ファンドは、東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではありません。東京証券取引所は、本件インデックス・ファンドの購入者または公衆に対し、本件インデックス・ファンドの説明、投資のアドバイスをする義務を持ちません。

東京証券取引所は、委託会社または本件インデックス・ファンドの購入者のニーズを、TOPIXの指数値を算出する銘柄構成、計算に考慮するものではありません。

以上の項目に限らず、東京証券取引所は本件インデックス・ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

当シリーズの主なリスク

主な投資リスクとして、組入株式・公社債・不動産投資信託証券(リート)の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等があります。

価格変動リスク
株式・リート市場の相場変動により組入株式・リートの価格が下落すること、金利変動により組入公社債の価格が下落することがあります。

信用リスク
組入有価証券の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入有価証券の価格が下落することがあります。

為替変動リスク
外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- 当資料は、三菱UFJ投信が作成した販売用資料です。

投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しの最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お客さまにご負担いただく費用について

購入時	購入時手数料	なし
保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額×最大年0.63%(税込年0.6%)
	その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。
換金時	信託財産留保額	換金時基準価額×最大0.3%

※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

設定・運用は



お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

商号等 / 三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 / (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

(公式サイト) <http://www.am.mufg.jp/>
三菱UFJ投信 検索

(モバイルサイト) 基準価額・分配金をメール配信
アクセスはこちら



当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。当資料に示されたコメント等は、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は株式、公社債等値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金保険の対象とはなりません。金融商品取引業者以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証・約束するものではありません。